

## 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画～中間年の見直し～（案）に関するパブリックコメント 提出意見及び本市の考え方

## ①計画に記載済みのもの

ご意見の内容については計画に記載しており、計画に沿ってしっかりと取り組んでいきます。

大分類	小分類	意見別 No.	意見内容	本市の考え方
教育・保育に関すること	就学前教育・保育と小学校の連携	1	<p>（第二期計画 P51） 就学前教育・保育と小学校の連携のさらなる推進について。 息子が来年（2023年）4月に加古川小学校に入学するが、「コロナ感染対策のため園児の体験入学は無い」と通知があった。 コロナ対策を理由に何もかも開催を止めていいのか疑問である。 隣接する市（姫路市・神戸市）に居住している知り合いから、隣接市では小1プロブレムをなるべく起こさないようコロナ渦でも園児の体験入学を実施していると聞いた。 さらに希望すれば個人的に現小1の授業の様子を見学できると聞いた。 加古川市が本気で小1プロブレムを起こさないように取り組んでいきたいと考えるのならば、コロナ渦を理由に園児の体験入学等、就学前の子どもにとって貴重な体験の機会を奪うべきではないと感じる。希望制にしたり複数回に分けて園児の体験入学を実施する等、工夫次第で実施できると思う。 コロナを理由に「中学校区連携ユニット12」が名ばかりにならないでほしい。</p>	<p>市として、全ての学校行事について一律の判断を設けることは難しいのが現状ですが、各学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ、子ども達の学びの機会を確保する観点から、様々な状況を検討し、学校長が実施の判断をしています。 小1プロブレムの緩和に向けて、本市では、「学校園連携ユニット」の取組を推進するとともに、校種間連携カリキュラムや加古川市スタートカリキュラムを活用しながら、子どもたちの連続した学びの充実を図ることに努めています。</p>
地域子ども・子育て支援事業に関すること	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）	2	<p>児童クラブは量の見込みに対して定員数が上回っているとのことで、児童クラブの待機児童が出ていないことは良いことだと思う。 しかし、加古川市の児童クラブでクラス崩壊（学級崩壊のような状況）が起きているため預けたくないが、民間学童がないので我慢して預けていると度々耳にする。 加古川市には民間学童がかなり少なく（調べたが加古川小学校区域には民間学童がない）、共働きの家庭は市の児童クラブに預けるしかほぼ選択肢がないため、児童クラブの質の向上に向けた取組も計画に入れてほしい。</p>	<p>（第二期計画 P28） 長年学校現場で培った知識、経験がある児童クラブ推進員が各児童クラブを訪問し、支援員・補助員の保育指導を行うとともに、支援員・補助員を対象に研修を実施することにより、更なる質の向上を図っています。</p>
地域子ども・子育て支援事業に関すること	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）	3	<p>児童の放課後の選択肢を増やすため、市として民間学童の誘致にも力を入れてほしい。</p>	<p>（第二期計画 P28） 民間事業者による事業実施については、各児童クラブの状況を勘案し検討します。</p>

②計画に関する意見ではないもの

計画に関するご意見ではありませんが、市の考え方を回答いたします。

大分類	小分類	意見別 No.	意見内容	本市の考え方
教育・保育に関すること	教育・保育の質の向上	4	就学前教育・保育の「質の向上」に向けた取組について。 息子を1歳児から保育園に預けた経験から、乳幼児期に質の高い保育を受けることの大切さを実感した。 よって就学前教育と保育の質の向上に取り組むことに賛成するが、一番大切なことは「園児の安全」なので、園児の安全がきちんと守られるよう各保育施設に指導をしてほしい。	園児の安全を守ることは教育・保育においても最も重要なものと考えております。 市といたしましても、各園が安全に教育・保育の取組を進めるよう、指導・助言を行っていきます。
教育・保育に関すること	教育・保育の質の向上	5	平成30年に実施された本計画策定時の市民アンケートに「保育の質の向上の望むので、問題のある保育園や市から指導を行った保育園を公表する制度を検討してほしい」と記載させていただいたが、この意見は現時点でどのような進捗になっているか教えてほしい。	令和4年度より、指導監査を実施した家庭的保育事業等、認定こども園及び保育所において文書指摘した主な事項を公表します。 なお、各園に対する指導結果について、一律に園名の公表はしていませんが、事案の状況や重大性を鑑みて必要がある場合は、法令等の規定により園名を公表します。
その他	子ども・子育て支援給付	6	子ども・子育て支援新制度の子ども・子育て支援給付について。 過激な意見になることは承知で記載するが、子どものための現金給付に児童手当があるが、加古川市独自で所得制限で児童手当を受け取れない世帯に給付を行う等、所得制限なしの子育て支援を検討してほしい。 加古川市の将来を担う子育て世帯を呼び込むには、隣接市とは異なる独自の子育て応援制度を作る必要があると感じる。 低所得世帯だけに手厚い支援をするのではなく高所得世帯にも支援を実施することにより、高額な住民税を納税してくれる高所得の子育て世帯を加古川市に呼び込むことができるのではないかとと思う。	児童手当については国の制度に基づき支給するものと考えているため、市独自で対象等を拡大して支給することは考えておりません。 子育て支援施策については、こども部内に検討チームを設置するなどして様々な施策を企画・研究しております。今後も市民のみなさまのニーズを把握し、より良い施策の実現に努めていきます。